

本資料は(一財)社会変革推進財団との業務委託契約に基づき、SIMIの責任において制作されました。原著の著作権は当該資料を作成した作者にあり、日本語化された資料の著作権は(一財)社会変革推進財団及び(一財)社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブにあります。

(<https://simi.or.jp/grc/the-benchmark-for-best-practices-in-impact-management/>)

インパクト・マネジメントにおける ベストプラクティスのための ベンチマーク

The Benchmark for Impact Investing Practice

BlueMark
2021年5月

須藤奈応 抄訳・まとめ

報告書の発行者と目的

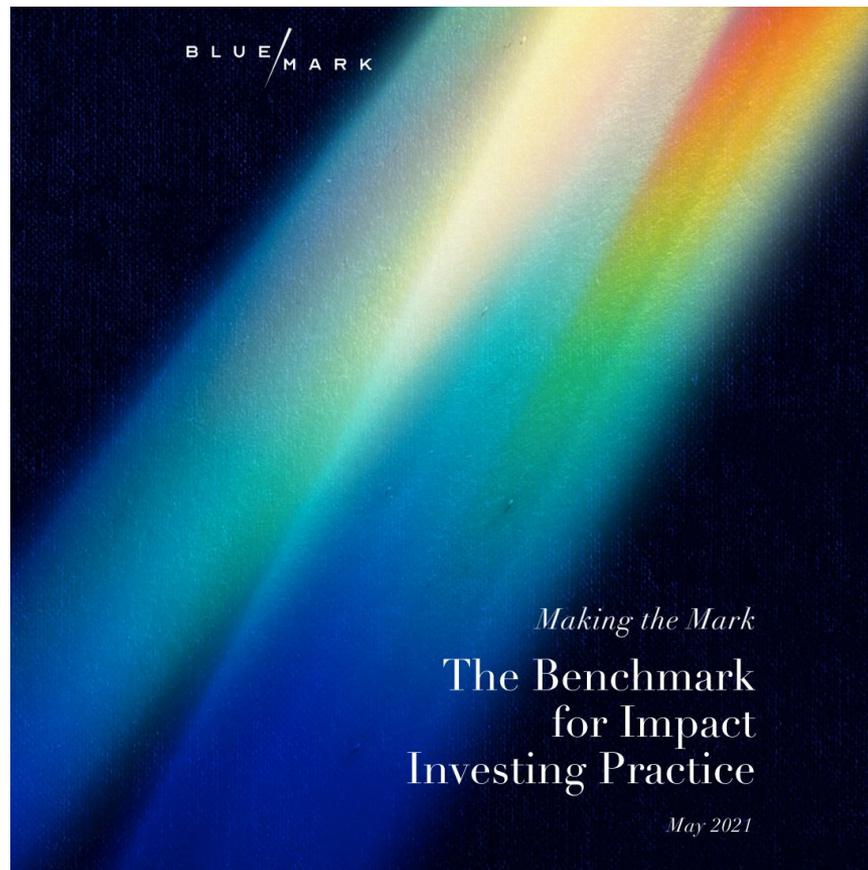
発行者

- **BlueMark**は、インパクト投資のコンサルタント会社TIDELINEより独立した子会社。
- インパクト投資の信頼性を強化し、インパクトに対する説明責任を高めることを使命とする**インパクト検証のプロバイダー**
- ロックフェラー財団の支援を受けて、本報告書を作成・公表。

報告書の目的

インパクト投資家にとって **インパクト・マネジメントの実践方法が必ずしも明らかになっていない**ことから、以下の目的で報告書を作成。

1. インパクト・マネジメントの **標準的、あるいはベストプラクティスの明確なベンチマークを確立**すること。
2. インパクト・マネジメントの **先進的な取組みを特定**すること。
3. 改善が遅れているプラクティスの**主な改善点を明らかに**すること。



調査対象

調査対象

- 合計990億ドルのインパクト資産を運用する **30社以上のインパクト投資家が対象**。
- これらは、BlueMarkがインパクト検証を実施した先で、その知見を取りまとめたものが本報告書。

調査対象の特徴

- **インパクト運用資産500百万USドルの金融機関が60%を占める。**
- **多様な投資家が対象。**
 - 約20%が開発金融機関
 - 30%がインパクト投資に限らず様々な金融資産に投資をする投資家
 - 33.3%がインパクト投資専門投資家
- **市場リターンを重視する投資家が80%以上。**
- 70%が非上場株式に、50%がデット(融資及び非上場債券)に投資。

調査対象となった30社

BlueMark's Practice Verification Clients¹

Bain Capital Double Impact, LP	FullCycle Management, LLC
Big Society Capital Limited	Investment Fund for Developing Countries (IFU)
BlueOrchard Finance Ltd.	Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.
Calvert Impact Capital	LeapFrog Investments
CDC Group plc	LGT Venture Philanthropy Foundation
Community Investment Management LLC	Nuveen, a TIAA company
Closed Loop Partners	Partners Group AG
DEG - Deutsche Investitions und Entwicklungsgesellschaft mbH	PG Impact Investments AG
EDFI Management Company (EDFI-MC)	Prudential Financial, Inc., Impact & Responsible Investing
European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)	Quona Capital Management Ltd.
FinDev Canada	The Osiris Group
Finnish Fund for Industrial Cooperation (Finnfund)	UBS Group AG
Franklin Templeton Social Infrastructure Fund	Women's World Banking Asset Management

調査の前提

- これから紹介する各ベンチマークは、2019年4月に導入され、インパクト投資業界全体から125以上の署名機関(本報告書執筆時点)を集めている「インパクト・マネジメントのための運営原則」(以下「インパクト原則」)に整合させている。
- SDGインパクトや欧州連合の持続可能金融開示規則(SFDR)などの基準が導入され、ベストプラクティスの水準が上昇し続ける中、新たな考察を取り入れるべく進化していくと思われる。
- インパクト投資のベストプラクティスに関するデータ収集を継続する中で、プラクティスベンチマーク(実務指針)は、投資家やその他の実務家がインパクトマネジメントの旅に出る際の指針となるものである。

原則1 戦略的なインパクト目標を投資戦略に沿って定義すること

中央値に位置する投資家群は、

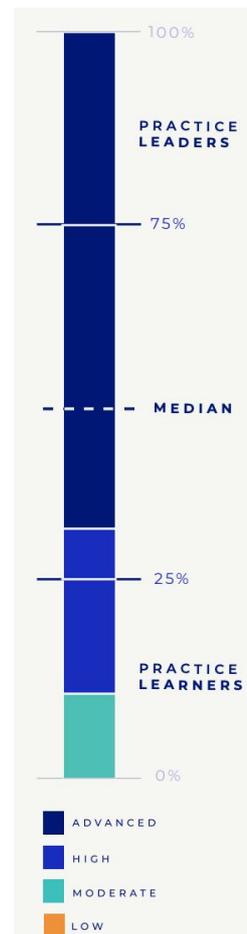
ADVANCED²²

レベル

(改善する必要性が低い)

取組内容

- 明確なインパクト目標を持つ投資戦略を策定している。
- インパクト目標をSDGsに合わせ、**投資戦略を通じてインパクト目標をどのように達成するのかを示す、ロジックモデルまたはセオリー・オブ・チェンジを作成している。**
- 信頼できる**証拠に裏付け**られている。
- SDGsに関しては、具体的なSDGsターゲットを特定したり、Impact Management Projectの「ABC」フレームワークを用いてSDGsとの整合性を分類したりするなど、実践を重ねている。



原則2 戦略的インパクトはポートフォリオ単位で管理すること

中央値に位置する投資家群は、 **HIGH** レベル

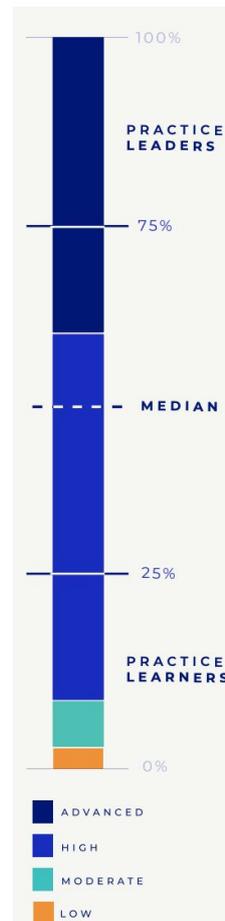
(改善点がいくつかあり)

取組内容

- ポートフォリオ単位のインパクト達成度を管理できるようになっている。
 - 投資先全体の**インパクト・パフォーマンスを比較・集計**できるようにしている。
 - **投資の意思決定プロセス**の一環として、期待されるインパクト・パフォーマンスを考慮している。
 - インパクト・パフォーマンスを**定期的にモニタリング**することも含まれている。
- スタッフの報酬制度をインパクト・パフォーマンスと連動させていない。

ADVANCED

の投資家は、連動させている。23%は定期的な考課測定にて、17%はボーナスと紐付け。



原則3 インパクトの実現に対するマネージャー貢献を明らかにすること

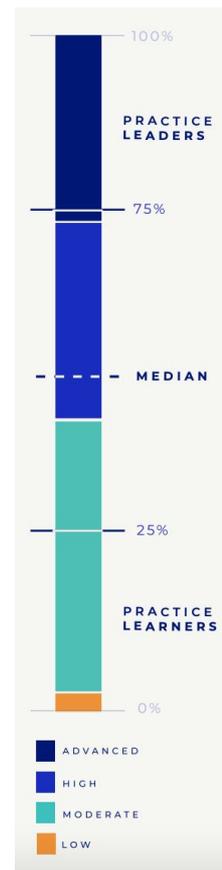
中央値に位置する投資家群は、**HIGH** レベル
(改善点がいくつかあり)

取組内容

- 投資先のインパクト・パフォーマンスを高めるために採用している戦略を明確に説明している。
- 投資先ごとに、期待されるインパクトへの貢献度を評価し、**貢献へのアプローチの知見を貯めるためケーススタディをまとめている**
 - インパクトへの貢献についての理解を深めるために、ケーススタディ以上の証拠を収集していない傾向あり。

ADVANCED

の投資家は、実施している。



原則4 各投資から予想されるインパクトを一貫したアプローチに基づき評価すること

中央値に位置する投資家群は、

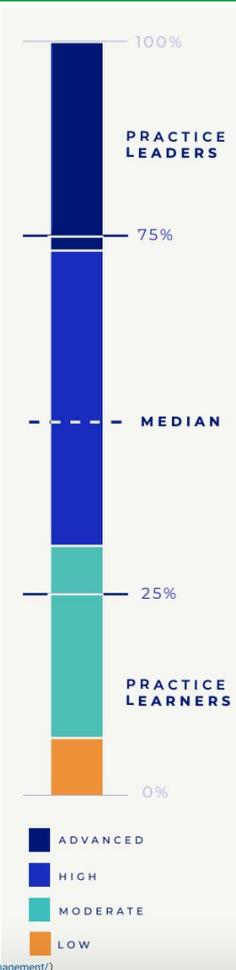
HIGH

レベル

(改善点がいくつかあり)

取組内容

- 一貫した方法で各投資の期待されるインパクトの評価を実施している。
- IRIS+や HIPSOなどの業界標準に沿ったインパクト指標を選択し、主要なインパクト指標の期待されるパフォーマンスに基づいてインパクトターゲットを設定することが多い。
- 通常、投資ごとにIMPのインパクトの5つの要素に基づく分析を行い、そのうち、**一部の指標のみを取り上げている。**



原則5 各投資がもたらしうる、潜在的なネガティブ・インパクトを評価、証拠、モニタリング及び管理すること

中央値に位置する投資家群は、 **HIGH** レベル

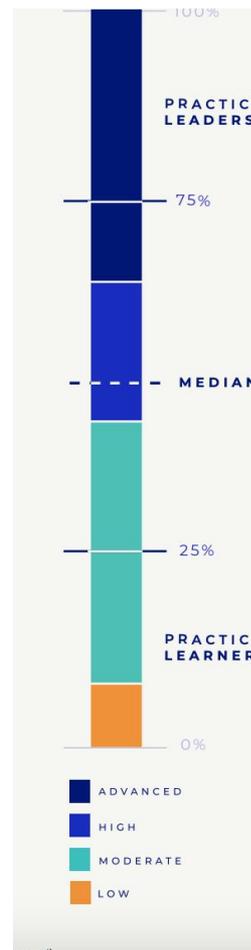
(改善点がいくつかあり)

取組内容

- 一貫したプロセスに従って、投資に関連する**潜在的なESGリスクを特定し、リスク軽減計画を策定している。**
- 様々なESGの業界標準を利用して、自社の投資戦略や特定の投資対象に最も関連するリスク分野を特定している。
- 特定されたESGリスクやパフォーマンス低下に対処するためのフォローアップは**日常的なモニタリング活動では行っていない傾向あり。**

ADVANCED

の投資家は、実施している。



原則6 各投資のインパクト実現への進捗度を予想に照らしてモニタリングし、それに応じ適切な対策を取ること

中央値に位置する投資家群は、

HIGH

レベル

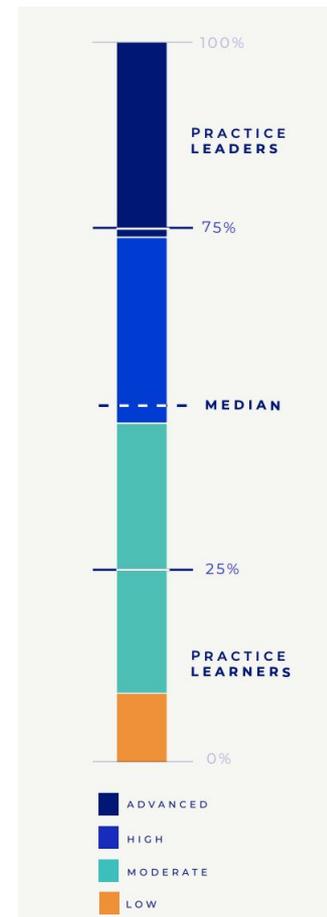
(改善点がいくつかあり)

取組内容

- 投資前に取り上げた**インパクト指標のデータを定期的に収集**し、投資先の実際のインパクトパフォーマンスを期待されたパフォーマンスと比較するなど、各投資先のインパクトパフォーマンスをモニタリングするプロセスを導入している。
- 投資先の製品やサービス(「アウトプット」)を測定してその影響を評価するが、それらの製品やサービスの短中期的な効果(「アウトカム」)を測定したり、ステークホルダーから意見を求めたりすることはしていない傾向にあり。

ADVANCED

の投資家は、実施している。



原則7 インパクトの持続性への影響を考慮しながら、エグジットを実行すること

中央値に位置する投資家群は、

MODERATE

レベル

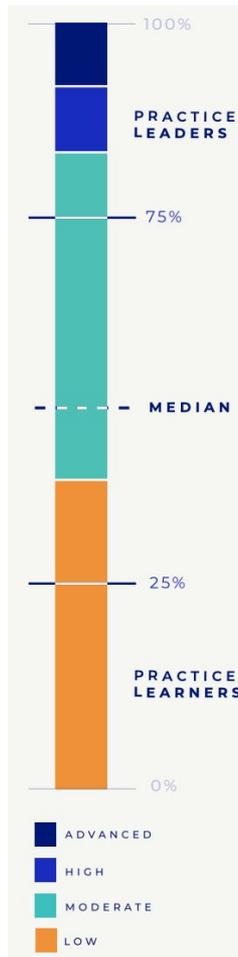
(改善点が複数あり)

取組内容

- 投資終了時およびそれ以降の投資先のインパクトの持続は最も大きな課題。
- インパクトが投資期間後にもどの程度継続しそうかどうかを予測する方法を開発している。
- しかし、一貫性のある文書化はされていない傾向あり。
- 投資期間後のインパクトの持続性を確保するために投資家が取ることのできる潜在的な行動も明確になっていない傾向あり。

ADVANCED

の投資家は、実施している。



原則8 投資の意思決定とプロセスをレビューし、文書化し、さらに創出したインパクトと得られた知見に基づいて、改善すること

中央値に位置する投資家群は、

MODERATE

レベル

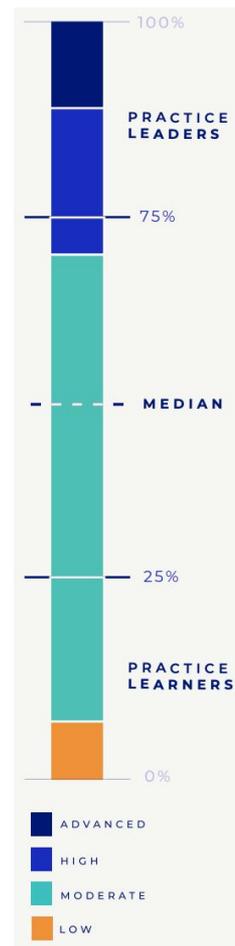
(改善点が複数あり)

取組内容

- 各投資のインパクト・パフォーマンスを**定期的なレビューを実施**している。
- 予想外のポジティブまたはネガティブなインパクトを一貫してモニターし、レビューすることや、レビュープロセスから得られた学びを将来の投資判断やポートフォリオ管理に反映させることは日常的に行っていない傾向あり。

ADVANCED

の投資家は、実施している。



ご利用条件

本資料は一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(Social Impact Management Initiative: SIMI) (以下「当法人」といいます)が運営するIMIグローバルリソースセンター(以下「本ウェブサイト」といいます)に掲載されているものです。

本ウェブサイトを利用される前に以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件にご同意された場合のみご利用ください。本ウェブサイトをご利用されることにより、以下の条件にご同意されたものとみなします。

なお、以下の条件は、予告なしに変更されることがあります。本条件が変更された場合、変更後の利用条件に従っていただきます。あらかじめご了承ください。

1. 著作権について

本ウェブサイト上のすべてのコンテンツに関する著作権は、特段の表示のない限り当法人および当該資料の原著の作者に帰属しております。そのすべてまたは一部を、法律にて定められる私的使用等の範囲を超えて、無断で複製、転用、改変、公衆送信、販売などの行為を行うことはできません。

2. 免責事項

本ウェブサイトは、社会的インパクト・マネジメントに関連する海外の文献や資料を、日本語に訳しまとめたものを、著者及び出版元の許可を得て掲載しています。本ウェブサイトに掲載されているコンテンツは、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語の原文を参照していただくよう、お願いいたします。

誤りのないようあらゆる努力をしておりますが、誤訳、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して、当法人関係者及び当ウェブサイトは、一切の責任を負わないものといたします。

当法人は、予告なしに、本ウェブサイトの運営を中断または中止、掲載内容を修正、変更、削除する場合がありますが、それらによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。また本ウェブサイトのご利用によりご使用者様または第三者のハードウェアおよびソフトウェア上に生じた事故、データの毀損・滅失等の損害について一切責任を負いません。

3. リンクについて

営利、非営利、イントラネットを問わず、本ウェブサイトへのリンクは自由ですただし、公序良俗に反するサイトなど、当社の信用、品位を損なうサイトからのリンクはお断りします。また事前事後にかかわらず、その他の理由によりリンクをお断りする場合があります。

4. 資料の引用について

本ウェブサイト上に掲載された日本語まとめ、抄訳及び翻訳資料を引用する際には、出典の著作者名として「一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(IMI)グローバルリソースセンター」及び当該資料の原著の著作者名を、併せて明記ください。なお、引用の範囲を超えと思われる場合は、当法人および当該資料の原著の著作権者に了解を得てください。